

お疲れ様でした！

明 石 真 和

初めて太田先生にお会いしてから、いつのまにか28年がたってしまいました。長いようで短い・・・そんな気がします。古今亭志ん朝師匠の「光陰矢の如しという言葉がありまして、これはどういう意味かという、光陰というものは、矢の如しだなあ・・・」を思い起こします。

たくさんのお仕事をご一緒させていただきました。ドイツ語グループでは、共同で教科書を三冊執筆しました。すべてドイツ語Ⅰの統一テキストとして使用しました。

留学制度がまだ整っていなかったころから、それぞれのクラスでウィーン研修の情報提供をしました。説明会に30～40人もの学生が集まったときには、「これを形にしよう！」と話し合いました。それが今の海外語学演習の基になりました。

また、初期の頃は一般教育部会のメンバーとしても、ほぼ毎週、木曜日の会議後、「延長戦」に誘っていただきました。一般教育の充実を目指して、諸先輩方が、杯を手に熱心に議論されていました。学部が増え、一般教育の部会が協議会になり、さらに教養文化研究所になりました。そのころから、教養教育に対する考え方が、先生方の中で変わってきたような印象をもっています。

とはいえ、いつも小難しい話をしていたわけはありません。国際交流提携校を増やそうと、皆でタイに視察に行きました。・・・バンコックでは、ゾウが20万円ほどで買えるらしい。特別留学生として連れて帰り、サッカー部のゴールキーパーにしよう。座っているだけで、相手チームは点が入らない。だが、毎日トラック一台分の野菜を食べるそうだが、どうする？餌は、ヤーコン（当時話題だった野菜）を学内で栽培して与えればいい・・・。たわいのない冗談に、皆で大笑いした

ことも懐かしい思い出です。

そんな会話の中で、一番楽しいのは野球の話でした。・・・好きな投手は？南海の杉浦忠、阪急の足立光宏、山田久志（みんなアンダースローだ）。理想のゲームは？打者全員を三球三振させる完全試合より、1試合を27球で終わらせるほうが美しい・・・。太田先生が、真面目に究極のピッチングを考えているところが、とてもほほえましいのです。

ここ数年、お身体の調子が悪いとうかがっています。でも、まだまだこれからもよろしくお願いたします。またいろいろなお話を聞かせてください。いつもご健康第一で！